

日本共産党 区議会議員



石田 ちひろ

日本共産党品川議会控室 TEL 03-5742-6818
すずらん通り事務所 TEL 03-5462-2133

2011年12月11日
ちひろニュースNo.25

品川区もようやく…

小中学校・保育園の給食食材の

放射線物質測定実施へ！

原発事故から8ヶ月余、区内にも放射性物質は降り注ぎました。とりわけ小さなお子さんのいる保護者から、空間線量測定そして給食食材の測定を求める声がよせられていました。しかし区は拒否。保護者のみなさんと共産党の論戦で区は方針転換。

住民の要望に応じて区が方針転換
当初区は、空間線量測定は、区内の小中学校の校庭・保育園の園庭・公園の砂場など特定の場所の測定しかしてきませんでした。ホットスポット探しは風評被害につながるとし、決まった所だけを測定し「問題ない」としてきました。

しかし保護者のみなさんは、子どもたちを放射能から守るためにはどうしたらいいのかと、独自で学習をし、「放射能から子どもを守る会」が各地で立ち上げられてきました。

品川区でも『会』が立ち上げられ、前議会(9月)では、きめ細やかな測定や給食食材の測定などの陳情を提出し全会一致で採択。保護者のみなさんや地域のみなさんの力で、区の方針を転換させました。

品川区でも『会』が立ち上げられ、前議会(9月)では、きめ細やかな測定や給食食材の測定などの陳情を提出し全会一致で採択。保護者のみなさんや地域のみなさんの力で、区の方針を転換させました。

更に給食食材も

品川区でも『会』が立ち上げられ、前議会(9月)では、きめ細やかな測定や給食食材の測定などの陳情を提出し全会一致で採択。保護者のみなさんや地域のみなさんの力で、区の方針を転換させました。

私たち共産党も、一般質問や決

学校給食への不安も多く、子どもに弁当を持たせる保護者もいて、対策が急がれていました。

品川区の給食食材の放射線量



ウツヘツツク

11月21日 品川学園

給食食材の放射性物質検査結果

米…千葉県産

にんじん…千葉県産

キャベツ…愛知県産

ピーマン…茨城県産

リンゴ…山形県産

ヨウ素131、セシウム134、セシウム137ともに検出下限値未満

測定は、当面は小中学校と保育園を每週交互に1施設ずつ。献立の食材から主要5品目を、専門業者に依頼して行います。公表は週末の区ホームページで発表されず。牛乳はメーカーに検査数値の公表を求めています。公表しない場合は、区が専門業者に測定を依頼します。区長は給食食材を

11月28日 北品川保育園

給食食材の放射性物質検査結果

米…青森県産

牛乳…北海道産

鮭…北海道産

きゅうり…群馬県産

ほうれん草…千葉県産

ヨウ素131、セシウム134、セシウム137ともに検出下限値未満



測定する理由を「保護者に安心してもらうため」とのべました。そのためにも5品目だけでなく、全品目の測定が必要ではないでしょうか。

無料法律相談

とき：12月21日(水)

時間：18:00~

場所：石田ちひろ事務所



主催・日本共産党品川地区委員会

連絡先・03-5742-6818 (品川区議団控え室)

東日本大震災復興支援展&バザー ご協力ありがとうございました!



11月27日、石田ちひろ事務所前で開催しました「東日本大震災復興支援展&バザー」は、地域のみなさんから多くの物品をいただき、必要経費を除き、4万2000円を支援募金として送ることができました。当日は被災地の写真パネルや、地域の保育園・公園・小学校など放射線測定結果の掲示、保育子育て相談、医療介護相談、生活相談と、相談コーナーも設置し、地域のみなさんからは「さすが共産党だね。良いことをやってくれる。」と嬉しい声もいただきました。ご協力に心から感謝いたします。

石田ちひろ事務所は、震災発生時から大井町駅をはじめとする各駅頭・街頭で支援募金を訴え60万円余を現地へ送り、ボランティアとして現地支援や、9月には野菜を大量に支援センターに送るなど一貫した支援をしてきました。今後も支援継続と共に、政府・東電が責任を果たすことを求めて、国会・区議会内外で全力を尽くします。

石田ちひろ